

－泌尿器科専門医 認定試験ガイドライン（受験者用）－

日本泌尿器科学会の専門医制度では、研修歴、研修単位等の審査に合格した上で、専門医認定試験に合格することで専門医として認定されます。

2018年の試験は下記の通り行われます。

（受験資格）

- ① 2014年（平成26年）以前に研修開始登録をしていること
- ② 2014年の研修開始登録者においては専門医認定申請時に継続して4年間以上日本泌尿器科学会の正会員であること
- ③ 2006年から2012年の研修開始登録者においては申請時に日本泌尿器科学会の正会員であること
- ④ 2018年3月末日までに4年間以上、泌尿器科専門医教育施設で研修していること（ただし4年間のうち2年以上、拠点（基幹）教育施設で研修していること）
- ⑤ 2018年3月末日までに学会の定める教育研修単位を取得していること
- ⑥ 2013年以降の研修開始登録者においては学会の定める手術件数を経験していること

（申請方法）

所定の用紙に必要事項を記入し、受験票に写真2枚（裏に氏名記入のこと）貼付の上、日本泌尿器科学会宛に専門医認定審査試験料（郵便振替のコピー）および研修記録簿を添えて送付する。

（申請・試験の期日）

申請書類提出締め切り	2018年5月10日（木）午後5時必着
認定試験受験資格審査結果通知	2018年8月上旬
認定試験	2018年9月1日（土）・2日（日）
	9月1日（土）14時00分集合
	筆答試験（14時30分～17時00分）
	9月2日（日）
	口答試験（10時00分～14時50分）

（試験場）

大阪：ホテルコスモスクエア国際交流センター
 大阪市住之江区南港北1-7-50
 TEL：06-6614-8711

(試験の方法)

1. 筆答試験

研修目標に従って行われた4年間余の研修について、専門医認定試験委員会において用意された試験問題によって評価が行われます。専門医としての基本的知識に加えて臨床能力を評価する問題が広範囲から出題されます。

9月1日14時30分から17時00分に施行されます。

解答はマークシート方式です。HB以上の鉛筆を使用してください。

2. 口答試験

専門医制度審議会が作成した画像を使った規定問題が出題されます。

また、自由問題として一般的知識・泌尿器科全般についても質問されます。

規定問題と自由問題の合計20分間を基本とします。規定問題は、前立腺癌、膀胱癌、腎癌、尿路性器感染症、尿路結石症、排尿障害・尿失禁、前立腺肥大症、精巣腫瘍、副腎の9領域の中からいずれか1領域について出題されます。

(注意)

1. 試験日に病気その他の理由で欠席或いは30分以上遅刻した場合は、その年度の受験資格を失います。一旦納入した受験料・書類は返却しません。
2. 認定試験の合否結果については9月下旬頃までに通知します。合格した場合は認定料25,000円をお振込みいただき、10月1日付専門医認定証を発行します。